

中央教育審議会生涯学習分科会社会教育推進体制の在り方に関するWG

# 地域づくりの担い手育成における大学の役割

— 北海学園大学社会教育主事課程の取り組みから —

2013年6月4日(火)



北海学園大学社会教育主事課程委員会  
委員長 内田和浩  
(北海学園大学教授)

# はじめに

## ○自己紹介

相模原市の公民館で8年間社会教育主事として勤務  
北海道教育大学で学部での社会教育主事養成と社会教育主事講習を担当  
5年前から、北海学園大学で社会教育主事課程を兼任

○5月18日、社養協（全国社会教育職員養成研究連絡協議会）研究大会で  
「地域づくりを担う社会教育主事の養成」として報告ー「地域づくりの担い手」  
同士を繋ぐ担い手としての社会教育主事養成

○昨年6月、北海道社会教育委員の会議による「社会教育行政としての家庭の教育力の向上を図り、学力・体力向上に向けた子どもの望ましい生活習慣づくりを推進するための方策について答申）」を同会議議長として答申ー社会的つながりを促す「地域の担い手」（ファシリテーター）の養成とコーディネーター及びコーディネーターのコーディネーターとしての社会教育主事自身の資質と能力の向上の重要性を指摘した。

はじめに

- 1、北海学園大学社会教育主事課程の取り組み
- 2、北海道社会教育主事養成等大学連絡会とその取り組み
- 3、北海道内179市町村の教育長へのアンケート調査  
「地域社会から求められる社会教育主事養成に関する調査」から
- 4、「地域づくりの担い手」づくりとしての  
社会教育主事養成課程へ

おわりに

# 1、北海学園大学社会教育主事課程の取り組み

## 2009年度からのカリキュラム改正のポイント

### 1、1年生2年生での社会教育実習Ⅰ・Ⅱの導入

\* 優れた学習支援者は、自ら優れた学習者でなければならない。

1年生－社会教育実習Ⅰ＝札幌市内の生涯学習施設での実習

2年生－国立大雪青少年交流の家での5泊6日の実習

### 2、3年生での社会教育演習での自治体社会教育調査と実習

2011年度・2012年度は中富良野町での調査合宿

「さっぽろ市民カレッジ」での企画事業の実施

### 3、社会教育実習室兼資料室の設置－3、4年生が主に使用

### 4、北海社会教育の会のフォーラムと月例サロン－3年生が運営

### 5、4年生での総括演習（「現代社会と社会教育Ⅱ」）－「卒論」

\* 希望者は、適宜、自治体などでの短期実習・インターンシップ

**\* 実質的には4年間継続的に実習が行われていく。**

# 社会教育実習 I



1年生で多くの学生が「だいどんでん！」の実行委員会である「街創造スタッフ」に参加。社会教育のフィールドでの学習者としての自分を発見する。

2年生になっても、ほとんどが「街スタ」メンバーとして継続して参加。3年生は、「街スタ」のリーダー（代表・副代表など）として活躍。 **実習から実践への発展**

## 社会教育実習Ⅱ



\* 公民館論でも、恵庭市・江別市等の公民館を見学する。

国立大雪青少年交流の家は、学習者の観察と学習支援者としての職員の役割を体験する。

その後、北海道内の青少年宿泊研修施設や自治体(通学合宿等)から「お手伝い」の声がかかり参加している。「地域づくり」の視点を持つ

# 社会教育演習①



中富良野町での社会教育調査実習

## 社会教育演習②



「ちえりあ」での市民講座企画・実施

学習支援者としての力量を磨く！



# 社会教育実習室兼資料室



社会教育演習や文献・資料学習など  
主に3、4年生が活用している。



# 北海社会教育フォーラム



卒業生の実践報告



実習・演習の事後報告



# 北海社会教育サロン



卒業生や社会教育主事等がゲスト

毎月第3金曜日19時30分から

ルールは、参加者全員が必ず質問をする。



# 現代社会と社会教育Ⅱ

4年生後期の必修科目であり、社会教育主事課程4年間の実践的学びを総括し、各自が社会教育実践者と巣立っていくための「現代社会に生きる」社会教育のあり方を学んでいくことを目的に設置した科目。ゼミナール形式の参加型学習として進めた。



## 学習目標

- 1、自らの社会教育主事課程の学びの成果を自ら総括できる。
- 2、社会教育の制度やしくみ、実践のあり方を自らのものとして理解する。
- 3、社会教育実践者としての生き方を身につける。

# 新カリキュラム最初の卒業生(2013年3月卒)の進路

## 13人の社会教育主事課程修了者

- ・沼田町教育委員会(女性・法学部) \* 社会教育主事として
- ・中富良野町役場(男性・人文学部)
- ・豊浦町役場(男性・経済学部)
- ・北海道生涯学習協会(女性・人文学部)
- ・北海道立足寄青少年自然の家(指定管理者職員)(男性・人文学部)
- ・札幌市生涯学習センター「ちえりあ」(契約職員)(女性・人文学部)
- ・厚真町教育委員会(臨時司書)(女性・工学部)
- ・北海道警察(行政職)(女性・法学部)
- ・民間企業 3人(うち1人は退職し、関連職場への再就職をめざす)
- ・未定 2人(次年度の市町村職員採用を目指す)



## 2、北海道社会教育主事養成等大学連絡会とその取り組み

### 北海道社会教育主事養成等大学連絡会 会則 (抜粋)

#### 第1条(名称)

本会は、北海道社会教育主事養成等大学連絡会と称す。

#### 第2条(構成)

本会の会員は、以下の者を持って構成する。

1. 北海道内の大学(短期大学を含む)で、社会教育主事任用資格を認定する課程・科目を有する大学・学部(機関)及び担当する教職員(個人)
2. 本会の目的に賛同する者

#### 第3条(目的)

本会は、北海道内の大学(短期大学を含む)で、社会教育主事任用資格を認定する課程・科目を有する大学間の情報交換や今後の北海道における社会教育主事の養成及び任採用について検討し、社会に有用な人材を育成していくこと目的とする。さらに、社会教育主事等への就職に関する関係機関への要請や情報収集を行う。

#### 第4条(事業)

本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 総会・協議会等の開催
2. 各関係機関との連携
3. メーリングによる日常的な情報交流
4. その他

\* 以下、略

## これまでの取り組み

2011年3月3日 設立準備会 開催（北海学園大学からの呼びかけ）

4月～5月 準備会として、「北海道における社会教育主事養成に関する大学調査」を各大学に実施し、5月21日の社養協研究大会（於・北海学園大学）で報告。

2011年9月9日 設立総会

7大学（北海学園大学・北翔大学・札幌大学・稚内北星学園大学・帯広大谷短大が団体会員。北星学園大学・北海道大学教育学部が個人会員）で発足。

\* 不参加は、札幌学院大学・札幌国際大学・北海道教育大学（酪農学園大学・道都大学は、課程を廃止）

会 長 内田和浩（北海学園大学）

副会長 岡庭義行（帯広大谷短期大学）

幹 事 川名広文（札幌大学）・若原幸範（稚内北星学園大学）

事務局長 谷川松芳（北翔大学）

会 計 河野和枝（北星学園大学）

監 査 宮崎隆志（北海道大学）

## 2012年4月22日 第1回研究協議会(基調講演・シンポジウム)

基調講演 テーマ「今、なぜ社会教育主事養成か!？」

北海道社会教育主事養成等大学連絡会会長

内田和浩(北海学園大学教授)

シンポジウム テーマ「北海道の社会教育主事像を語る」

登壇者 元置戸町教育委員会社会教育主事 矢崎秀人

北海道教育庁生涯学習推進局長 阿部 豊

(元北海道教育委員会社会教育主事)

北翔大学生涯スポーツ学部教授 谷川松芳

(元長沼町教育委員会社会教育主事)

司 会 北星学園大学准教授 河野和枝

(元別海町教育委員会社会教育主事)





2012年10月13日～14日 第2回研究協議会(学生交流会)  
於・恵庭市青少年研修センター

テーマ「社会教育職員を目指して、多くの仲間と交流しよう」

内 容

10月13日(土)

開会行事 (18:00～18:30)・情報交換会(18:30～21:00)

各大学で社会教育主事養成科目等を履修している学生の情報交換を行う

10月14日(日)

講 義 (9:00～10:00)

テーマ「社会教育主事を目指す学生に期待すること」

講 師 北海道教育委員会生涯学習推進局長 阿部 豊

恵庭市教育委員会社会教育課社会教育主事 藤野真一郎

分科会(10:00～11:45)

グループで将来の職業としての社会教育職員について意見交換を行う



## 2013年4月21日 第3回研究協議会(調査報告・シンポジウム)

調査報告「地域社会から求められる社会教育主事養成に関する調査」報告

北海道社会教育主事養成等大学連絡会会長

内田和浩(北海学園大学教授)

シンポジウム

テーマ「地域社会から求められる社会教育主事をどう育てるか」

登壇者 北海学園大学教授 内田和浩

北海道立図書館長 阿部 豊

沼田町長

金平嘉則

北海道社会教育主事協議会副会長 藤野 真一郎

司 会 北翔大学生涯スポーツ学部教授 谷川松芳



## 2013年10月19日～20日 第4回研究協議会(学生交流会)

予定

10月19日(土)

1)開会行事 (18:00～18:30)

2)情報交換会(18:30～21:00)

各大学で社会教育主事養成科目等を履修している学生及び教職員の情報交換を行う。

10月20日(日)

1)講 義 (9:00～10:00)

テーマ「社会教育主事を目指す学生に期待すること」

サブテーマ「福井市の公民館実践から学ぶ」

講 師 福井市公民館主事の皆さん

2)分科会(10:00～11:45)

グループで将来の職業としての社会教育職員について意見交換を行う



### 3、北海道内179市町村の教育長へのアンケート調査「地域社会から求められる社会教育主事養成に関する調査」から

#### 調査の概要

#### 全道179市町村の教育委員会教育長宛で調査依頼

\* 道教委生涯学習推進局及び各教育局の協力

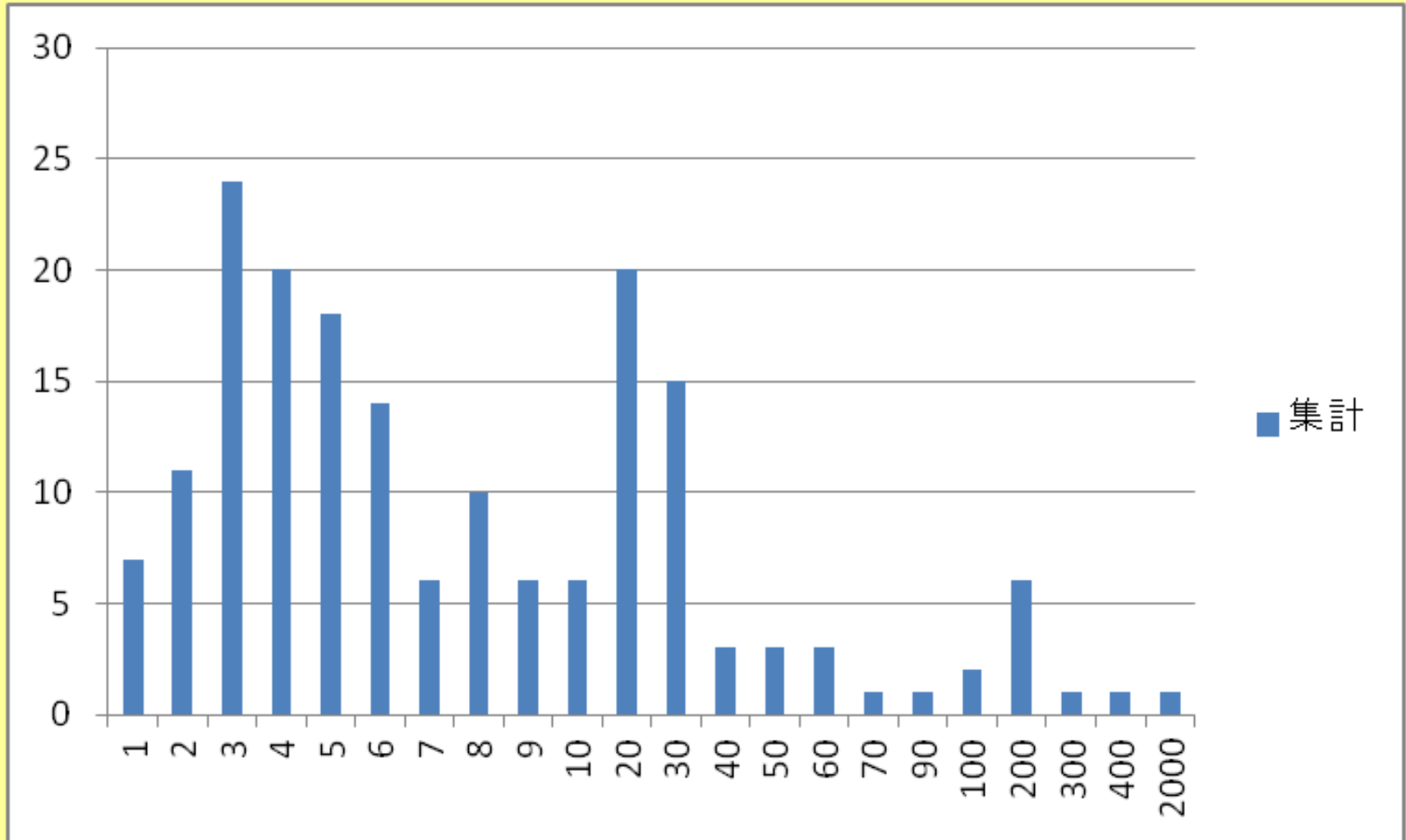
2013年1月上旬に郵送し、1月末までに郵送で提出を依頼

郵送留置法によるアンケート調査 3月上旬までに全市町村より提出され回収した。

#### 調査の目的

- 1、北海学園大学開発研究所の総合研究「北海道の社会経済を支える高等教育に関する学際的研究－北海学園大学が果たす役割－」の共同研究の一環として実施するもので、まさに北海学園大学社会教育主事課程における人材育成が、市町村の社会教育活動の充実・発展にいかなる役割をはたしてきたのか、今後いかなる役割が期待されているのか、等を明らかにすることです。
- 2、昨年度北海道内の大学間ネットワークとして「北海道社会教育主事養成大学等連絡会」を結成させていただきましたが、その活動の1つに「北海道における社会教育主事の養成及び任採用について調査研究」することが掲げられており、その一環としての調査研究という位置づけであります。

# 北海道内市町村の人口規模



**179市町村中122市町村が1万人以下**

\* 10万人以上の市は9市

\* 1万人以上3万人未満の市町が35市町

## 2. 貴市町村教育委員会の社会教育主事について(数値を記入してください)

### (1)現在の社会教育主事の実数(発令者のみ)は何人ですか

社会教育主事(発令者)の 人数	0	1	2	3	4	5	6	7	9	総 計
市町村数	46	67	45	9	6	3	1	1	1	179

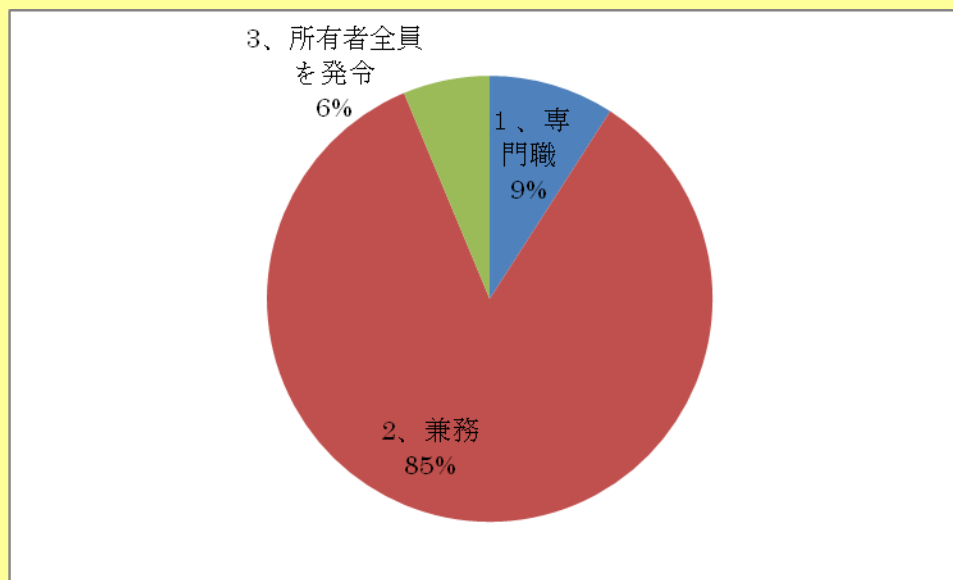
179市町村中133市町村に社会教育主事が配置され、その総数は245人である。

9人は、北見市。7人は、新ひだか町。6人は、遠軽町。5人は、恵庭市・八雲町・日高町。

\* 恵庭市以外は、「平成の大合併」で合併して出来た。

### 3(2)社会教育主事の発令者の位置づけは、次のうちどれですか

(発令者がいる市町村のみ回答してください)



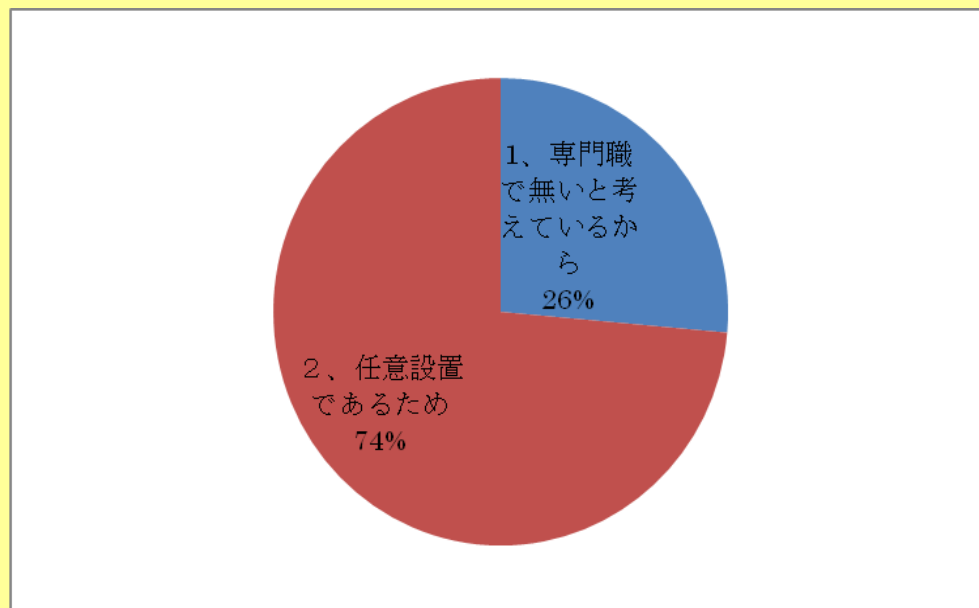
## (2)現在の社会教育主事資格所有者の実数

(資格を持っているが発令していない者)は何人ですか

有資格者の人数 人	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	11	12	未	総計
市町村数	61	34	22	22	10	6	6	6	1	2	1	1	7	179

教育委員会職員で社会教育主事資格を持っているが発令されていない人の総数は341人。

### 3(3)社会教育主事資格所有者を発令しない理由はなぜですか 実数101市町村 (資格を持っているが発令していない者がいる市町村のみ回答してください)



社会教育法施行令では、附則に1万人未満の町村は「当分の間」「置かないことができる」としている。

12人は、紋別市。11人は、名寄市。  
9人は、釧路市・恵庭市。  
8人は、石狩市。

### (3) 現在、貴市町村首長部局にいる社会教育主事資格所有者の実数 (わかる範囲で結構です)は何人ですか

人	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	未	総計
市町村数	21	24	36	31	25	12	9	7	2	1	1	2	8	179

不正確な数であるが、179市町村中158市町村で首長部局にも有資格者がいることがわかる。合計は、509人。

(1)(2)(3)をすべて合計すると、全道の市町村には1095人を超える社会教育主事有資格者が勤務していることがわかる。—全くいないのは、奥尻町のみ。

\*しかし、まったく教育委員会に社会教育主事又は有資格者がいない市町村は、**15市町村**ある。





#### (4) 上記(1)(2)のうち(教育委員会にいる社会教育主事及び有資格者)

##### ー1 北海学園大学出身者は何人ですか

人	0	1	2	3	5	7	未	総計
市町村数	128	24	4	1	1	1	20	179

合計で47人の北海学園大学を卒業した社会教育主事及び有資格者が31市町村で活躍していることがわかる。

7人は、島牧村。5人は、石狩市。3人は、恵庭市。

\* すべてが本学の主事課程出身ではなく、就職後に主事講習を受けた人も含まれる。

× 市町村によっては、(3)(首長部局にいる有資格者の数)も含んだ数値と誤解したところもある。



## 一2 道内外の大学の社会教育主事課程で資格を取得した者は何人ですか

人	0	1	2	3	4	5	6	7	12	未	総計
市町村数	70	47	16	13	7	2	1	2	1	20	179

合計で188人が、大学の主事課程で学んだ者である。全体(586人中32%)

## 一3 社会教育主事講習で資格を取得した者は何人ですか

\* 集計表は省略

合計で404人が、主事講習での資格取得者。

\* 資格取得方法合計592人と

教育委員会の社会教育主事及び有資格者合計586人とで誤差有り。

### 3. (1) 社会教育主事を専門職として別枠採用をしていますか

別枠採用	している	以前はしていた	していない	今後する予定	その他	総計
市町村数	14	34	127	1	3	179

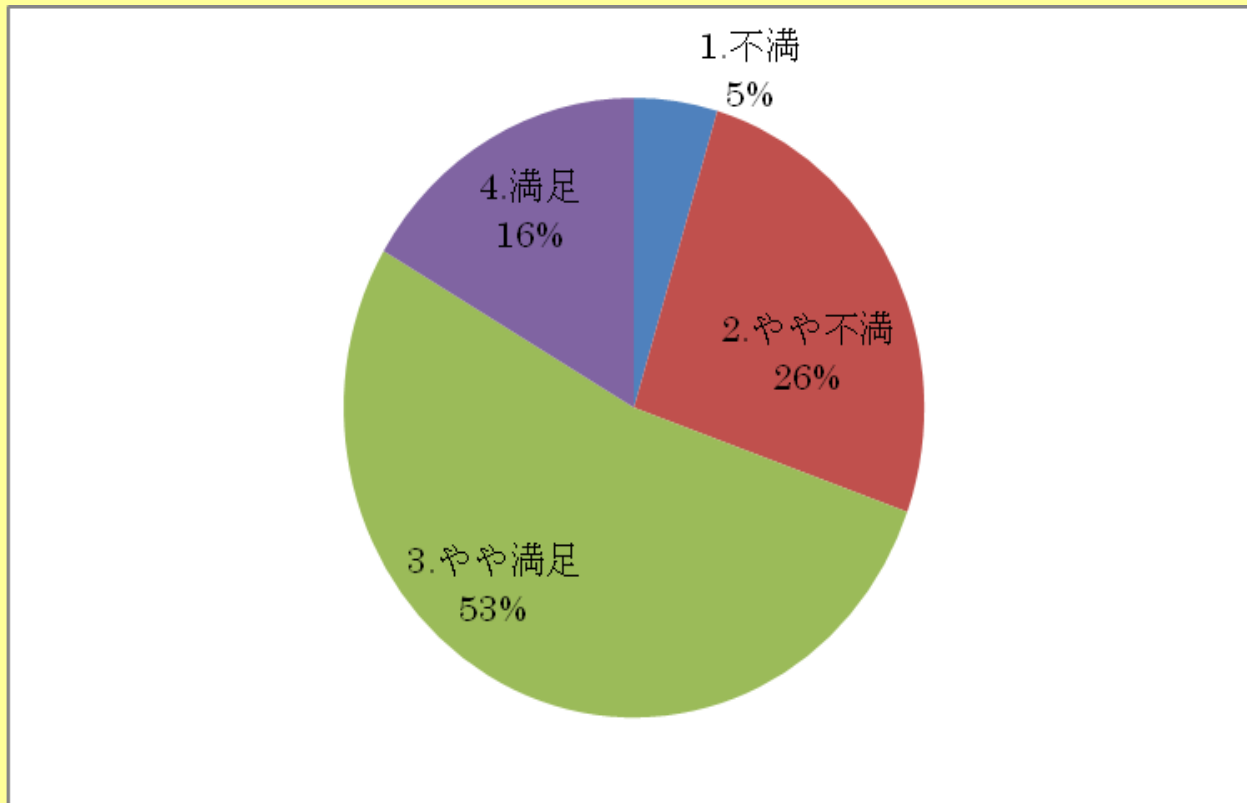
「している」は、北広島市・鹿部町・美幌町・清里町・中頓別町・枝幸町・礼文町・利尻富士町・由仁町・砂川市・上士幌町・中札内村・今金町・浦河町の14市町村。  
「今後する予定」は、滝上町。  
「その他」のうち沼田町が「未定」(平成25年4月別枠採用している)。せたな町が「平成25年4月採用予定」。

\* 過去を含めて専門職として別枠採用した経験のある市町村が**51**あり、**全体の28%**である。



## 4. 社会教育主事に対する評価について

### (1) 教育長として、現在の社会教育主事の制度的位置づけについて



#### 満足な点

・地域社会における「人づくり」「絆づくり」「地域づくり」に専門性を発揮してくれている。

#### 不満足な点

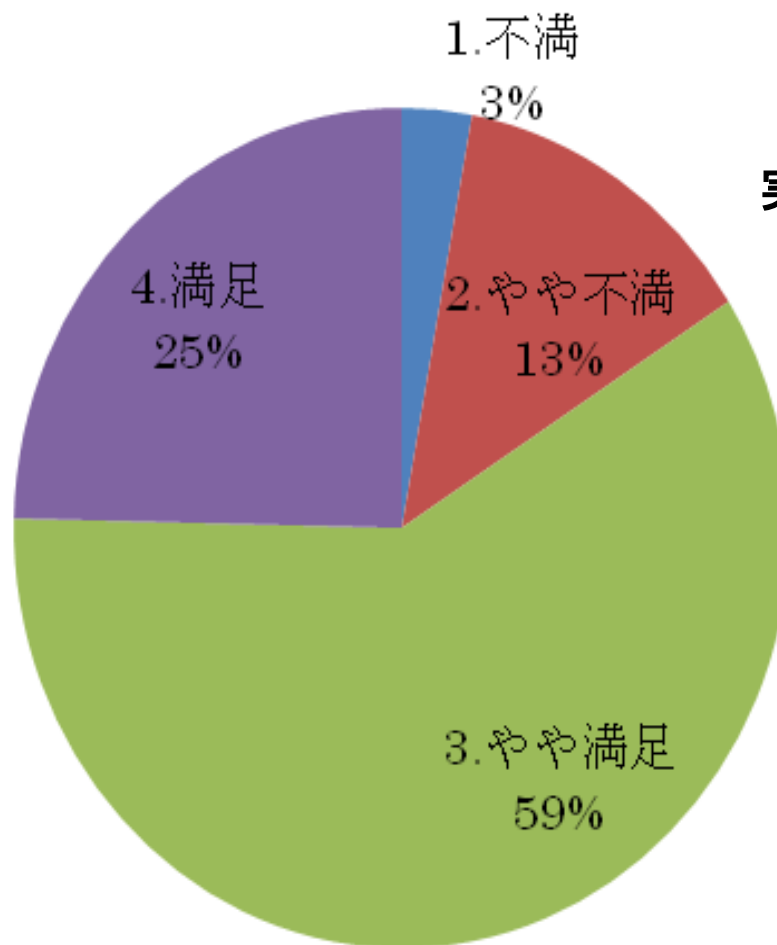
・社会教育の推進を行う上で資格が必要なのか疑問

・小規模自治体は専門職としてその仕事だけにかぶれては困ります。  
特に社会教育主事にはその傾向を感じることもある。

### (3)大学の社会教育主事課程で資格を取得した社会教育主事について

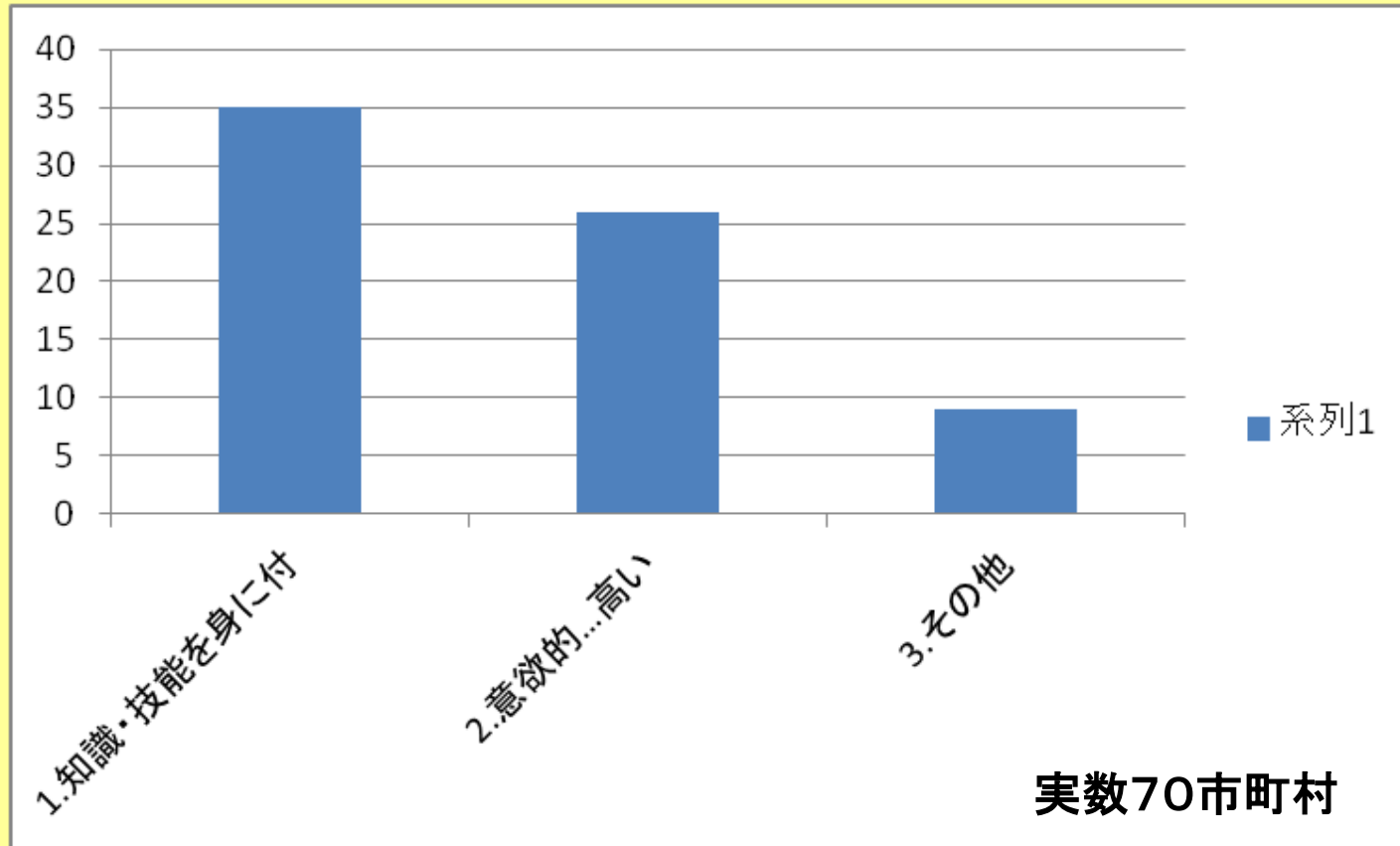
(いる場合のみ)

実数 69市町村



#### (4) 上記の者の満足な点は、次のどれですか

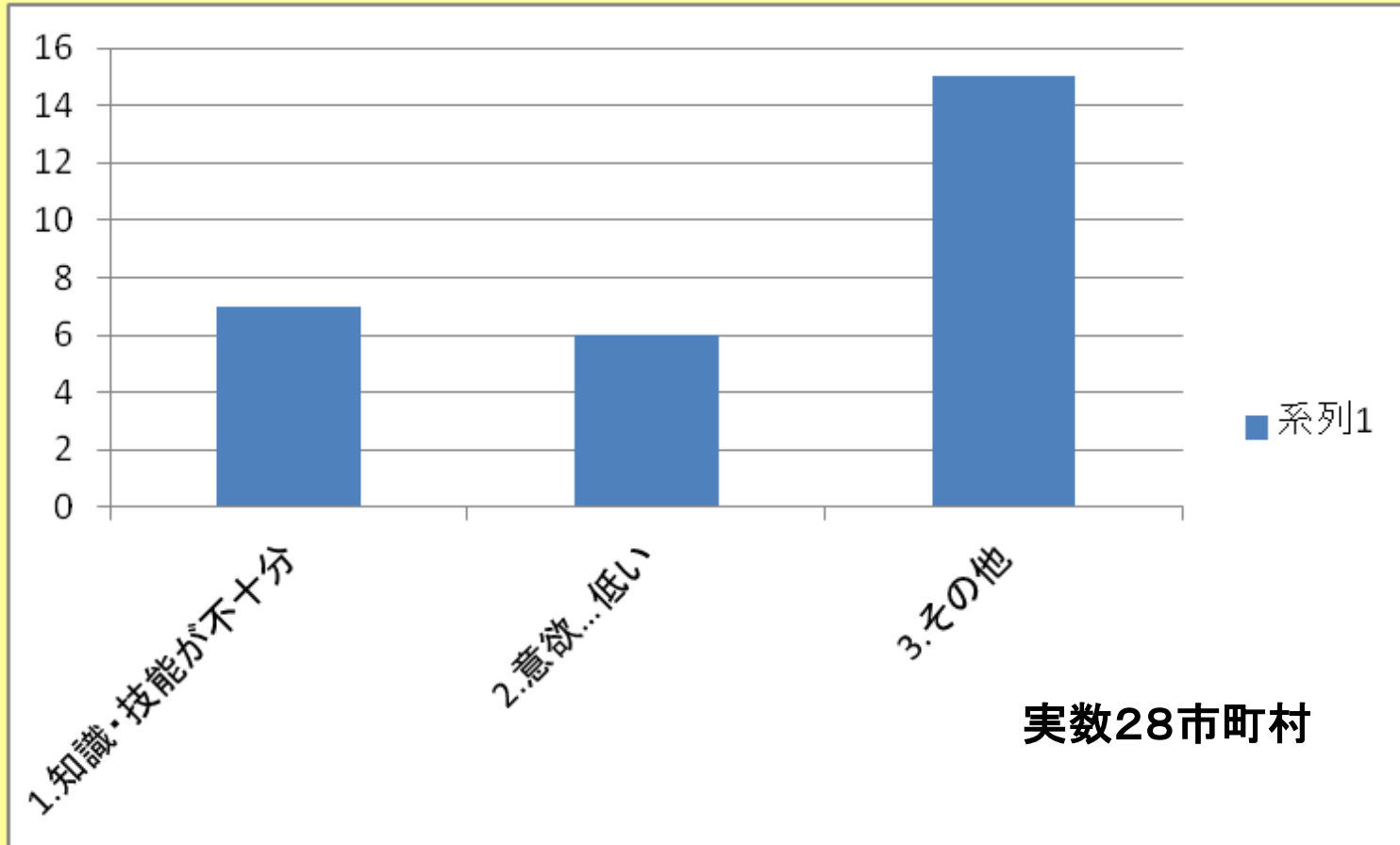
1. 専門職としての基本的な知識・技能を身に付けている
2. 意欲的でコミュニケーション能力が高い



3. その他
  - ・即戦力
  - ・当市における人材として雇用できる(一般行政職員への異動が容易)
  - ・専門職として配置はしていないが、基本的知識・技能を身につけている。
  - ・個人差が大きい

## (5)上記の者の不満足な点は、次のどれですか

1. 専門職としての基本的な知識・技能が不十分である
2. 意欲が低くコミュニケーション能力も低い

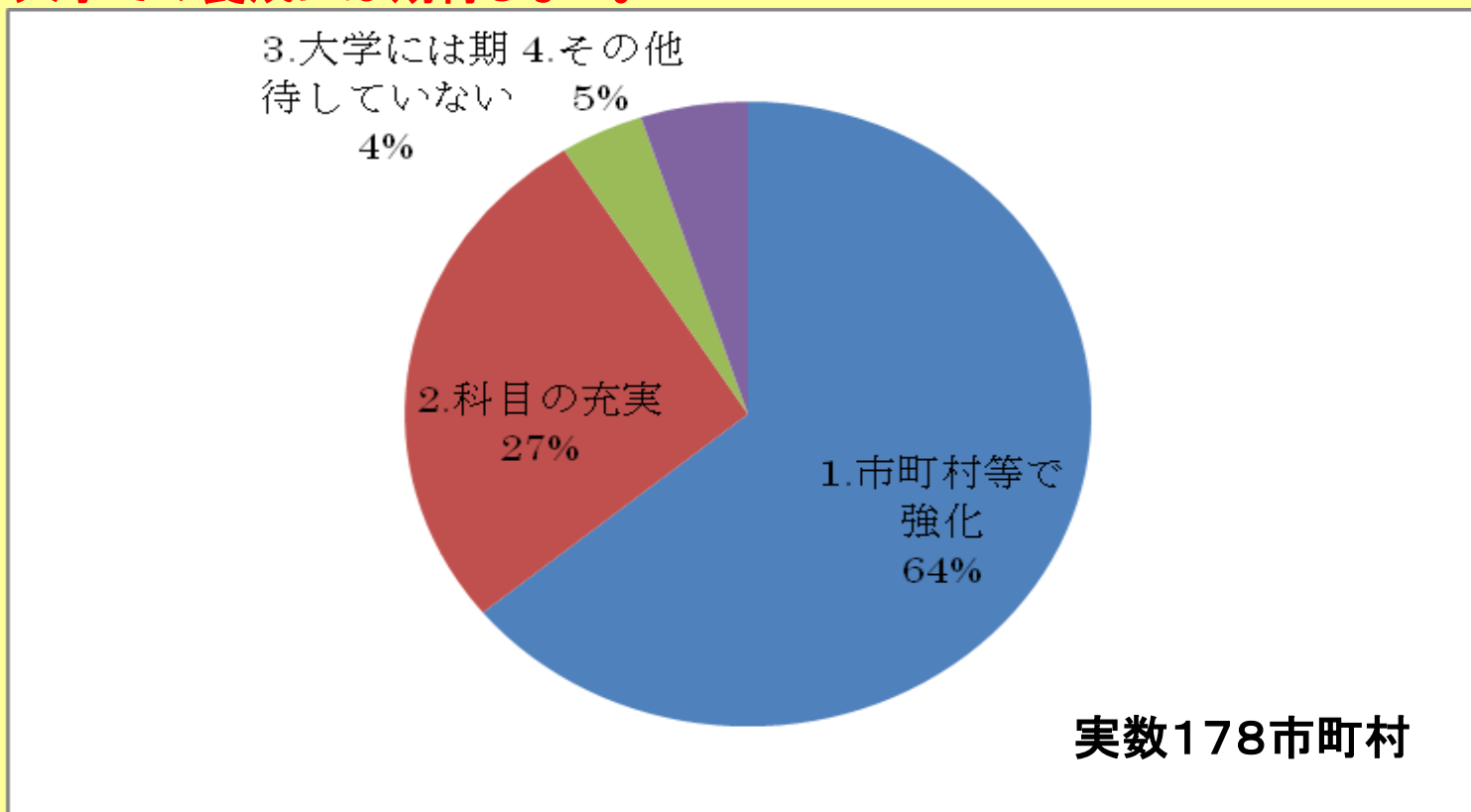


3. その他 ・『社会教育の終焉』(松下圭一 著)を読んでいない。
  - ・新しい企画、事業へ取り組む意欲が低い
  - ・唯一の有資格者となった場合、人事的な選択肢がない

## 5. 大学での社会教育主事養成について

### (1) 今後どのような養成を望みますか

1. より実践的な力量形成をめざして、市町村等での実習を強化する。
2. より専門的な知識を身に付けるために、講義科目を充実させる。
3. 大学での養成には期待しない。



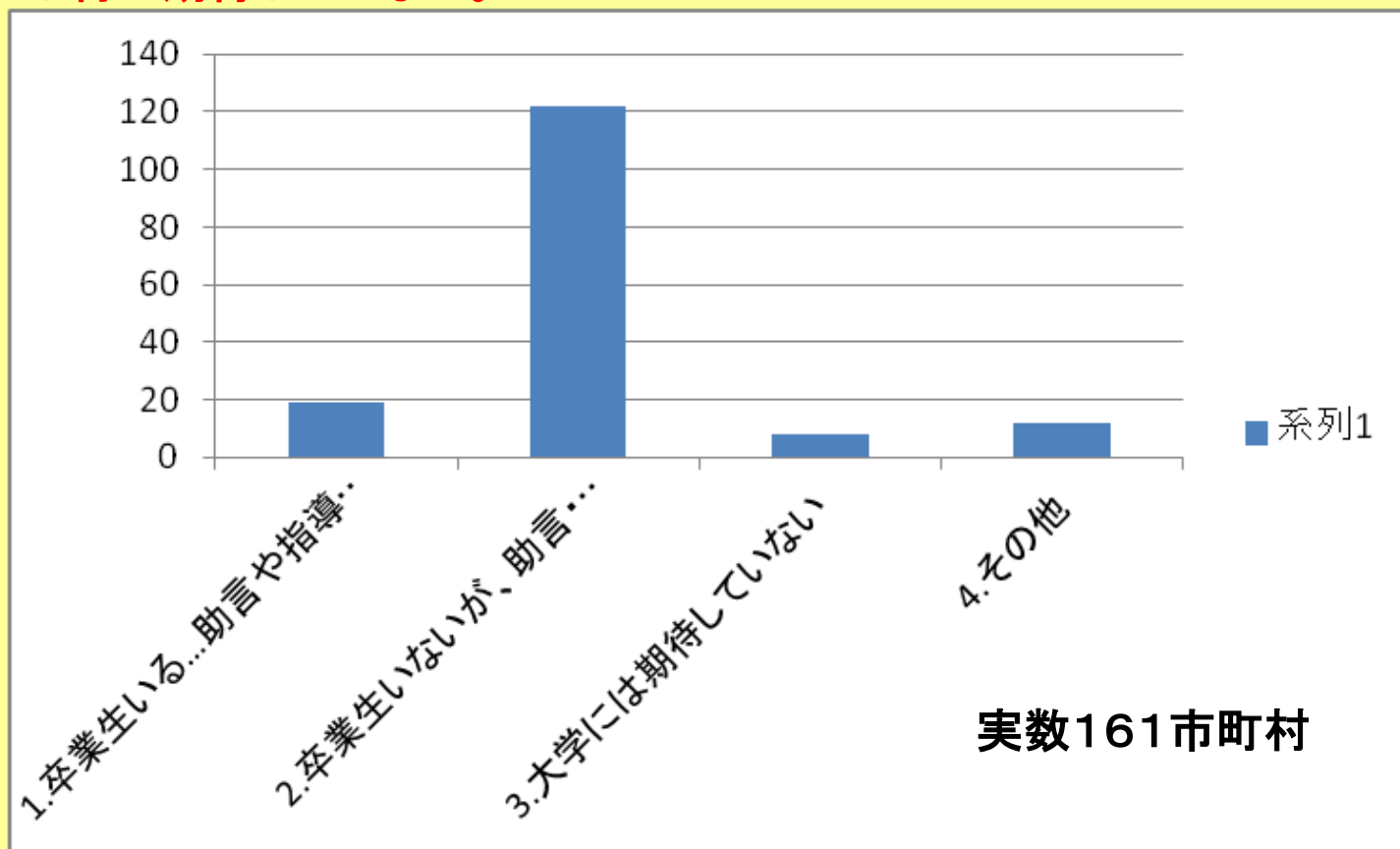
### 4. その他

- ・民間のインストラクターの補助など経験させる
- ・講師の選任方法と視座
- ・大学の教育課程においては基礎的学力の養成が第1であると思う。



## (2)大学(教員及び研究組織)への期待について

1. 卒業生の社会教育主事がいるので、継続的な助言や指導を期待している。
2. 卒業生はいないが、社会教育職員全体の力量アップへ向けた助言や指導を期待している
3. 大学には特に期待していない。



### 4. その他

- ・教育実習やインターンシップに関する大学と地域の連携及び大学による地域支援
- ・社会教育全体の力量アップへ向けた助言や指導を期待している。
- ・行政力も身に付けてほしい

## 6. ご意見・ご感想があれば教えてください(自由記述)

○主事講習では社会人(教員・教育委員会職員)が主な受講者なので、目的意識・意欲が高いと思われるが、学生の場合は、社会教育の魅力を全面的に伝える(伝わる)内容が望ましいと思います。主事講習の短期決戦と違い大学の課程では現場や社教主事の協力の元に様々な取り組みが考えられると思いますので、期待したいです。特に研究者と社教主事の接点の場を多く設けてもらえるとありがたいです。

○社会教育主事養成課程や実習等において、市町村実施する事業へ学生ボランティアのような形で参画して頂けると、お互いに必要とする部分を補完できるのではないのでしょうか。

○まちづくり行政全般について、社会教育的観点は極めて重要。さらに、企画主導、調査、評価などの能力において、社会教育主事は政策形成の要とならなければならない。図書館司書、博物館学芸員とあわせて社会教育主事の専門職としての位置付けが重要。そのためには、コーディネート力を含め、さらに専門性と実戦力を自ら高めることが求められる。

○小さな自治体で社会教育主事を採用する場合、もちろんその専門性も必要だが、一般職員としての能力(事務能力等)も不可欠。その両方をもった人材の育成に期待します。

○大学での社会教育主事養成には、専門的な知識・技能の習得のほか、様々な市町村の現場を知る機会があると今後にも有効と考えます。

・大学の社会教育主事養成担当教員には現職者からの相談等を受けたり、他の教員とのパイプ役など、その大学の窓口的な存在になることを期待しています。

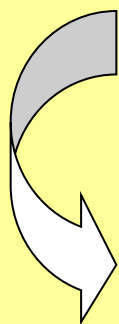
・後継者の育成、引き継ぎの面から、計画的な講習受講による資格取得等により複数配置や有資格者の増加を考えていく必要がある。

○「いまだに住民を指導する。」という感覚を持っているのであれば必要がない。社会教育主事の括りで物事を進める時代は終わったと思う。

## 4、「地域づくりの担い手」づくり

としての社会教育主事養成課程へ

北海道では、「少子高齢化」と札幌への一極集中等によって急激な縮小化（「限界集落」「限界自治体」）が進み、地域社会が成り立たなくなっている。



**大学として**

大学は、4年間の学士課程であり、現行の社会教育主事養成課程は4年間の積み上げと蓄積（理論と実践）の中で行っていくべきもの

「地域づくりの担い手」の育成  
と、「地域づくりの担い手」同士を繋ぐ「担い手」  
を創っていかなければならない。

社会教育主事は、「地域づくりの担い手」たちを繋ぎ、ネットワークを結びながら  
「人育ち」の支援を行っていく仕事。

**\* 大学の使命 =**

社会教育主事としての力量を持った有為の若者を、北海道内179市町村に  
きちんと輩出して、それらの人たちが活躍できる社会を創っていかなければならない。

## おわりに

### ○社養協での取り組みについて

\* 社養協としては、「実習」を軸にした社会教育主事課程のカリキュラムの可能性を全国の養成校に伝えながら、「社会教育主事」の資格そのものの問題を明らかにし、「**地域の人びとの学習や活動に関わる職**」に関する新たな資格(例えば「コミュニティ学習支援士」など)を提案し、実現していくことが、地域の社会教育の担い手の養成・研修に関わる養成校(大学・短期大学)の全国協議会としての責務である。(2013.5.18 社養協調査プロジェクトからの報告より)

### ○日本社会教育学会での取り組みについて

職員問題対策委員会を設置(2013.3.10)して社会教育主事資格のあり方を検討中

- ①社会教育主事の養成・研修のカリキュラムの再構築とともに、コミュニティ学習支援士等の新しい資格や認証制度を社養協などと連携しながら提案していく。
- ②職員問題に関する事例集を出版すること(2013.3.10職員問題対策委員会会議議事録より)